

# 福原ニードル株式会社

和歌山県西牟婁郡白浜町

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

## 「世界に広がる FUKUHARA ブランド」 E-NEEDLE 特許で世界をリード

- 積極的な設備投資を行うことで競合製品と品質面で差別化を実現し、市場での優位性を固めている
- 特許を持つ独自技術・日本人の手先の器用さに支えられた繊細なモノづくりで業界をリード
- 福原産業貿易株式会社を中心に、FUKUHARA グループで総合的に顧客をサポート

### 企業基本情報

所在地	和歌山県西牟婁郡白浜町堅田 2753-1
電話/FAX	0739-45-0032/0739-45-1788
URL	—
代表者	代表取締役社長 福原 裕司
設立	1964年
資本金	7,930万円
従業員数	250人



### 会社概要

工業用メリヤス編針の製造業で国内トップ。製品の90%を輸出。輸出先は、欧米各国、中国、その他東南アジア諸国、中南米、アフリカ諸国など「FUKUHARA」ブランドは、世界に広がっている。日本・米国・中国・インド・ヨーロッパで特許を取得している革新的なE-Needle技術でファインゲージ分野に強い。メリヤス編針製造装置・プレス金型・カッターなど加工に必要な機械設備・治工具類の大半を自社製造しているところも同社の強みである。



福原ニードル株式会社  
会社外観

### 革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

#### 積極的な設備投資を行うことで競合製品と差別化を実現

同社の焼戻装置（平成24年度ものづくり補助金事業で採択）は、夜間無人運転が可能のため、人件費の削減と生産性の向上につながる。

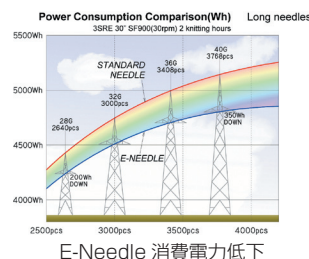
また、高周波焼き入れ装置（平成25年度ものづくり補助金事業で採択）の導入により、メリヤス編針の強度向上を実現。更に、YAGレーザー溶接装置（平成28年度ものづくり補助金事業で採択）は、ファインゲージメリヤス編針の品質及び耐久性を向上させ、付加価値の高いメリヤス編針を製造している。



夜間無人運転焼戻炉

#### 独自技術・日本人の手先の器用さに支えられたモノづくり

同社のメリヤス編針「E-NEEDLE」は、Economy・Environment・Evolutionがキャッチフレーズ。従来品に比べ、消費電力・発熱量の5～15%減少を実現（Economy）。丸編機の機械本体の温度上昇を抑え、室温上昇が少なく快適な作業環境を確保。消費電力の低減によるCO2排出量の削減で地球環境にも貢献している（Environment）。また同針は、従来にない固定概念を打ち破った革新的な形状で特許を取得（Evolution）。「吸汗速乾ウェア」「薄くて暖かい保温性肌着」などの機能性衣料や「ラグビージャージ」などスポーツウェア全般の製造に必要な不可欠となっている。

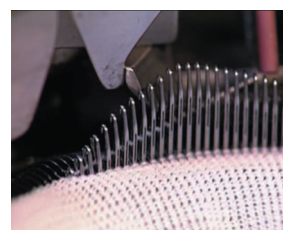


E-Needle 消費電力低下

#### FUKUHARA グループで総合的に顧客をサポート

福原産業貿易株式会社を中心に、丸編機を製造する株式会社福原精機製作所と同社の3社が集まる企業グループ。グループ内に丸編機とメリヤス編針の各製造部門が存在するのは、世界でFUKUHARAグループだけである。

丸編機・メリヤス編針の研究・開発にグループ3社が連携して取り組む開発力でこれからも世界をリードしていく。また、顧客所有丸編機の稼働に必要な消耗部品であるメリヤス編針・部品を責任を持って供給。



メリヤス編針の編成部